

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 200 号 2014. 12. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

ホットニュースの毎月の発行を重ねてきて 17 年近く、号も祝 200 を迎えました。当初発行のきっかけは、普及員がお手伝いに伺った稲作の直播作業の報告からでした。圃場訪問、作業、見学等の報告は、自然農法の実験現場と消費現場のパイプ役として、多くの人たちを結んできました。時には自然農法を知らない人々への案内に、消費者の声を生産側に届けるツールとしても利用されています。ここ数年では、消費現場での頒布活動や、作物によって命を救われた、健康になった人たちの体験談が消費側へのお知らせとして役立っています。



自然農法勉強会

自然農法を標榜する農法が多くなってきている中で、私たちは自然農法の「厳密かつ継続した栽培」だけでなく、「一人ひとりの「世の中のためにと考える心」「目に見えない自然の力を感じる心」の涵養へとつなげていきたいと思っています。(編集部・長島)

これからも真の自然農法の実証を!

長野県 堀 政則



自然農法で生産された農作物、食品等が、消費の場で今まで以上に要求されるようになり、自然農法が勢いを持って拡がりつつあることを実感しています。

10 数年前、自然農法の勉強会でお会いした先人の方から、「これから自然農法は確実に普及されていく、企業も流通業者も乗り出すでしょう。そんな時を迎えても、あなたたち生産者はその波に惑わされないように、しっかりと厳密に自然農法の生産に向き合ってください」との言葉を頂きましたが、本当に今日、その通りに時は動いたと思っています。

一方、生産地では自然農法の認知はまだ十分ではありません。むしろ既存の農業は現在、産業としての危機に直面しており、荒廃地は年々増加を重ね、生産者は生産への希望も見だせなくなっています。まして、自分たちが丹精こめて育てた作物が、人の命を支え、健康を作ることができなくなっているという事実を知るには及んでいません。生産の誇りや喜びを取り戻し、農産現場にも天国が広がって行かなくては、「農村天国」も建設できないと思っています。

半世紀以上にわたり、先輩方が積み上げられてこられた「真の自然農法」を、少しでも次代につないでいく TOREK 自然農法活動に、私も今以上に参加させていただきたいと意を固めており、自然農法の原理を厳密に実証するために、より深く学び続け、実証を積み上げて行きたいと思っています。

今年も多くの方々にお世話になり、ご支援を頂きましたこと、本当にありがとうございました。

「むせひ屋」出店の広がり その1

スタッフ 中村竜児

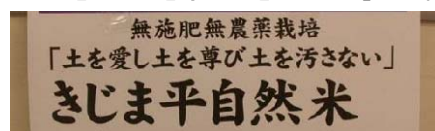
10 月の自然栽培フェアに続き、11 月も「むせひ屋」出店販売をさせていただきましたので、報告させていただきます。

まず、11 月 21 日に足立区綾瀬で開催された「オレンジリボンママフェスタ」に出店いたしました。虐待防止の輪を広げるオレンジリボン運動を行っている団体主催のイベントで、来場者は子育てに励む



▲松本「井上百貨店」の自然米販売

▼「土を愛し土を尊び土を汚さない」の文言



若いお母さんです。雑貨販売、マッサージ、学資保険の相談窓口など、多彩な出店者の中、どこまで自然農法の作物をアピールできるのか、若干の不安を抱えながらイベントは始まりました。

すぐ近くで、お弁当箱などの半額セールをやっていたので、そちらにかなりの人だかりができて、その後はむせひ屋の前を素通りして次のブースに行くという方が多く、戸惑ってしまいましたが、目的のブースを回った後に立ち寄ってくださる方が少しずつ現れ、こちらも用意したビン実験(無施肥と市販の野菜の比較)を示しながらの自然農法の説明に熱が入ってきました。皆さん、やはりお子さんの健康は気になるもので、

お子さんが成長して健康な肉体を作っていくために、少しでも安心・安全な作物を取り入れるようにとの話に真剣に耳を傾けてくださいました。用意した大根の試食に、皆さん美味しいと言ってくださり、野菜を購入することは想定せずに来場されたと思われ、荷物が一杯になっているところに、さらに無施肥無農薬の野菜を買って帰られました。試食用の大根スライスには味付けをしていなかったのですが、赤ちゃんが何度も手を伸ばして、もっと欲しがっていたのが印象的でした。

次いで 11 月 30 日に、北区の赤羽公園で開催された「ほっと縁市(えんにち)」に初出店いたしました。こちらでも自然農法についてのどのくらいの宣伝ができるか心配な面がありました。(201 号に続く)

出産時の血液の数値改善!

東京都 高島利率



今年 5 月 5 日に出産しました。自宅分娩を希望していた私は、妊娠 8 カ月のころ、血液のヘモグロビン数値が 9.7 と低く、このままでは病院出産になると言われました。鉄剤を処方されましたが、飲まずに食事の改善をすることにしました。自然米、山本さんの鶏のレバー、自然卵、お野菜全て自然農法のものに変えました。お腹の子が大きくなるにつれて、栄養も摂られていくため、数値が上がることはないと言われていました。

そして 1 カ月半後、検査結果が 9.8 と上がっていました。すごいと思いました。上がらないはずが、0.1 上がったのです。このときはまだ自宅分娩の許可はもらえませんでした。食事方法を変えず続けました。

そして出産予定日一週間前、最後の検査です。結果は 10.1 となっており、言われている規定の数値よりも低かったのですが、病院より許可をもらい、自宅分娩にて出産することができました。

しかも出産の際、私は 2 リットル以上の出血をしました。助産師さんより、普通に生活できるまでに半年以上かかるだろうと言われていましたが、1 カ月検診の際、私の回復ぶりを見て、すごく驚いていました。「きっと自然の食べ物などにこだわっているから、元の体が出来ているんですね」とのこと。

また妊娠 8 カ月のころ、外食をすると、食べ終わってすぐ必ず吐いていました。家のごはんは吐かずにおいしく食べられ、自然農法の食物の素晴らしさを実感しました。これには主人も驚いていました。

今回の経験を通して、改めて食の大切さを学びました。今も、自然米、自然農法のお野菜をおいしく頂いています。本当に有り難く、感謝でいっぱいです。

お知らせ

★ 自然農法頒布会 1 月 15 日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~ 売り切れ次第終了

無施肥無農薬栽培物の販売予定

1 月 1 日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- 市川生産グループ: 煎茶、ほうじ茶(ミホ'ツも有り)
- 長柄山自然農園: 卵、ひき肉、鶏ガラ
- きじま平自然農産: 白米、もち米、小豆、干し柿、甘納豆、米粉、きな粉、納豆、ブルーベリージャム
- 菜園 金野: 大根、ニンジン、サツマイモ、大根の甘酢漬
- 中島農園: 長ネギ、下仁田ネギ、ジャガイモ、梅干
- ジョリフィユ: マドレーヌ・クッキーのギフトセット、イチゴのロールケーキ、カスタードプリン ほか

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>